

くろゆり通信



第31号 平成18年1月発行
発行者 国土交通省中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
小渋川砂防出張所
小渋川砂防安全協議会

本年もよろしくお願ひ致します

小渋川砂防出張所及び工事関係者一同は、洪水や土砂の災害から地域を守るため、本年も精一杯がんばります。工事にあたっては十分な安全対策を実施しますが、お気付きの点がありましたら遠慮なくご連絡いただけますようお願いいたします。

小渋川砂防出張所 0265-39-2301
大河原砂防工事連絡協議会 (代表：大協建設) 0265-39-2105
入谷地すべり工事連絡協議会 (代表：木下建設) 0265-39-1135

(ろくべん館にて撮影)

さる、12月23日(金)ろくべん館において、「第2回わら細工手習い講座」が行われました。講師として中尾地区の北村保福さんが指導にあたり、今回の内容は【正月飾り】と言うことで参加者22名の方たちは楽しみながらも真剣にわら細工に取り組んでいました。

「第1回わら細工手習い講座」は11月に行われ、【わら草履】を作ったそうです。また、次回の第3回目の内容として【わらむしろ】を検討中とのことでした。

ろくべん館管理人の中村さんに伺ったところ、この講座の目的は「文化の伝承です。」と熱っぽく語っていただきました。

大鹿村には、国選択無形民族文化財である【大鹿歌舞伎】や、今回の【わら細工】のような文化と伝統をととても大事にしていると感じ、自分の中で忘れかけていた何かを思い起こされるようなひと時でした。

わら細工に取り組んでいる様子



今回の講座で作ったもので、右が【注連飾り】、左が【おやす】と言ひ神様に食べ物をお供えする器です。



平成17年度 天竜川水系 大河原床固工群護岸工事
株式会社 三六組 現場代理人 津川 浩

【連絡先】 現場事務所 0265-39-1088

現場E-mail sanroku@mx2.avis.ne.jp

大西さくら橋の所で主として自然石を使い護岸工事を行っています。木々が芽吹く三月末の完成予定で工事を進めています。お気付きの点がございましたらご連絡ください。



ろくべん館 管理人
中村さんから

おじいちゃんの手はすごい！

わら細工の講師は、中尾地区にお住まいの北村保福(やすとみ)さんです。

保福さんはいつお宅におじゃましても、家にはいません。大抵、家の下の斜面にある畑にいます。応対してくれるおばあちゃんが、家の前から「お〜い」と呼んでくれます。「お〜い」という返事が下の方からすると、間もなく保福さんの姿が現われます。その足取りの軽いこと、そしてその目の光の若いこと！

保福さんは大正12年生まれです。田畑に、山にと汗して働いてきた、みやましい大鹿人の一人です。

この北村保福さんが、今でもわら草履やムシロを作り続けているということを目にして、昨年からろくべん館にわら草履とムシロを置かせていただくことにしました。

これが結構都会の人には人気です。わら草履は売り切れですし、ムシロも少しずつですが、売れています。これらのものは、使ってみるとその良さがわかります。

ゴム草履やビニールシートに比べたら、体にだってやさしいし、それに自然素材だから最後は土に戻ります。それに何と言っても、これらのものは人の手で作りましたもの。あったかくて、やさしくないはずがありません。そして、それを作り出す手のなんと頼もしいこと。

縄をなう、わらを織り込む、その確かな手つきには見惚れてしまいます。長い年月、生活に必要なものを自分で生み出してきた手です。こんな優れた技術を放っておく手はありません。

北村さんを講師にお招きしての「わら細工手習い講座」は2回目です。毎回、参加された方たちが、帰りがけに「楽しかった」のこぼれを残してくれます。みんなで一緒に手仕事をする事の、なんと楽しいことよ。

次の機会には、ぜひ参加してみませんか？

自然を大切に工事しています



工事範囲にあり、切られる運命にあった桜の木を移植しました。春に花が咲くのが楽しみです。